

「永遠なれ」祈り連なり満たして透明  
閉じ込めて愛てる花の一瞬

時止めて飾る花が密集

酩酊さえ想い想われ浸して投影

残り香にも触れられぬ情念だつて風見鶏は語り合つて

一回り緩んで揺らいだ自問自答

種落ちない 枯れもしない

昼も夜も同じ顔

愛しげに覗いた瞳が写し出す命

可憐な彩りはいつでも傍らにある

喜怒哀楽、草花も同じで  
感情で表情を扇情に変える

四季はいらないの？

呆れたものね

なんて救い難いエゴイズムの結晶でしょう

けど それすら一つの

散る刹那、咲く刹那  
芽吹く刹那  
どれも美しい刹那

「永遠なれ」祈り連なり満たして透明

閉じ込めて愛てる花の一瞬

時止めて飾る花が密集

酩酊さえ想い想われ浸して投影

残り香にも触れられぬ情念だつて風見鶏は語り合つて

花のいろはうつりにけりないたづらに

四季と共に咲いて散らし舞い

風に流れ花も枯れてまた新しく芽吹くを繰り返す

春の小川に春の花

ラストサマーに夏の花

ありのままの秋の花

冬の寒波に冬の花

巡る巡る季節に芽吹き大地が息吹く

瓶に詰めて管理

自然からの隔離

活ける花と同義

見ればわかる通り

風が運ぶ香り

それも楽しみ

四季で変わる芳香があるさ

語り説く四季のフラワーマスター

束ねて重ね果てた言の葉で飾ろうともまだ足りない  
書いて描いて歌い踊って追い求めるの  
今更機微も意味も見落とすほど狭量とは心外だわ  
編んで潰して絞り尽くして君に根付き染み込むのでしよう

大輪も一輪もどれも花の形

ここで咲くと深く深く根を強く張った地

咲き舞い散るブロッサムと地を彩るクロツカス

暑さが続く日には咲き続けるジニア

絨毯を落葉で創造

風で揺れるコスモス

雪解けを待てばね 顔を出すのはアネモネ

閉じ込めていられるか？ 季節と花卉

瞬間の美で心に響くのかね？

「敬虔たれ」気取りまやかし然して壮麗

これは織り成す四季の総集

瞬間切り取る花を一蹴

名声さえ恨み呪い日増しに証明

慈悲にも錯誤するような狂気を張って美しく溺れさせて

「永遠なれ」祈り連なり満たして透明

閉じ込めて愛でる花の一瞬

時止めて飾る花が密集

酩酊さえ想い想われ浸して投影

残り香にも触れられぬ情念だって風見鶏は語り合って

なんだかんだあーだこーだ事細かに語りこんだが

好きであればそれでいいさ

どれも同じ形

吸って、吐いて、育て、魅せて、食べて

どれも同じ花を愛でる形

そうゆうことでしょ

果てしない花畑を囲むこの柵だったりも隔離と同じ？  
そんな考えなんかもあるかもしれないわ